



よしだつうしん

吉田通信

第68号
【2020年5月】

〒950-1475 新潟県新潟市南区戸頭1347-1 TEL:025-372-1138 FAX:025-372-1155

■■この吉田通信は私とご縁のあった方、ご縁をいただきたい方に差し上げている月一人通信です■■

◆あの日、現場で起こっていたこと◆

こんにちは。お世話になります。吉運堂の吉田竹史です。吉田通信第68号をお送りいたします。よろしくお願いいたします。

さて、前回の吉田通信で、「4月16日夜、社員とその親族、社員の妻が感染していることが判明。保健所の指導により、当社鶴岡店店内の消毒を実施し…」といったことを書かせていただきましたが、実は、4月16日の夜から17日の昼過ぎにかけて、現場ではこんなことがありました。

4月16日（木）の夜、社員が感染していることがわかり、すぐに緊急夜ミーティングを、遠隔で実施いたしました。そして、山形の該当店舗と隣の店舗、近隣の店舗は休みにすることを決めました。ちょうどその日、政府から緊急事態宣言の対象地域を全国に拡大すると発表があり、それも後押しとなって、即断できました。

翌日、17日（金）の昼2時頃、現地の幹部から連絡が。「3時から山形県庁が（毎日）恒例の記者会見をする予定です。おそらくそこで社員の感染の話が出ると思われれます。すぐにでも会社として発表をした方がいいんじゃないでしょうか」と。「そうだね、ありがとう」と答え、急遽、2時半すぎに、感染判明の経過や対応状況などの詳細を、当社HPにアップしました。

その30分後に始まった山形県庁の記者会見、山形新聞の記者の方から、「吉運堂のHPに出ていることは事実ですか？」と質問があり、先に情報を出して本当に良かったと思いました。

隠すようなことは何もなく、感染経路についても、ご高齢の親御さんを（感染を防ぐために）自宅に引き取ってのことで、本当に致し方なく、ただ、この情報を先に出したことで、お客様や周辺の方々からの信頼を失わず、対応が良かったと、逆にお褒めの言葉までいただきました。

ある人から以前、聞いた言葉を思い出しました。「先に言えば説明、後で言えば言い訳」

もし、山形県庁の発表より後だったら、何か隠していたのでは？と思われ、何を言っても言い訳だと思われてしまいかねません。それが、同じ事を言うにも、先に言えば説明になる。情報の先出し。言いにくいことほど先に言う。今回、改めてその大切さを、痛感いたしました。

◆発行者コラム◆

今回もまた、最後までお読みいただきどうもありがとうございました。さて、今回の事が起こったときに、私自身、新潟から山形に本当はすぐにでも飛んで行きたかったのですが、ちょうど緊急事態宣言が出されたところで、県をまたいでの移動は自粛しました。対応については現地の社員が本当によくやってくれました。とても心強い社員たちです。■追伸：入院した社員は、まだ退院はしていないのですが、ほぼ無症状とのこと。このまま完治することを願うばかりです。吉田竹史

■■吉田通信を今後ご希望されない方は、大変お手数ですが090-3339-0424までご連絡をお願いいたします。■■

【発行者プロフィール】

名前：吉田 竹史（よしだ たけし）
生年月日：昭和40年8月21日（O型）
出身地：新潟県白根市（現・新潟市南区）
経歴：都内の学校を卒業後、証券会社（水戸 & ニューヨーク）の4年間の勤務を経て吉運堂へ。

趣味：上手くないゴルフ、強くない将棋
（NHKの将棋対局を見ることは好きです）
家族構成：妻、娘、息子



吉田 竹史